

第6次尾鷲市総合計画 後期基本計画（中間案）に対する意見の概要及びそれに対する尾鷲市の回答

No.	意見箇所	項目	意見の要約	尾鷲市の回答	担当課
1	111市民参加によるまちづくり	P23	集会場などの老朽化に伴う施設修繕や改修について今後検討すべきではないか。	集会所等の施設修繕や改修については、市民ニーズや財源を踏まえ、計画的に取り組んで行きます。	市民サービス課
2	112情報共有化の推進	P24 「施策の現状と課題」《現状と課題①》	定例会議や懇談会などの会議録の公表が遅いのはなぜか。	内容の精査等により、時間が遅くなりまして申し訳ございません。出来る限り早急に対応していきますので、ご理解の程よろしく申し上げます。	市長公室 議会事務局
3	113市民参加による防災対策	P27 グラフ	備蓄状況において、携帯ガスコンロ、可燃性ガスも備蓄した方がよいのではないか。	備蓄状況表には記載されておきませんが、携帯コンロ50台、ボンベ375本を備蓄しております。	防災危機管理室
4	113市民参加による防災対策	P27 「主な取り組み方針」《方針5》	事前復興計画の策定と併せて受援計画も同時に行ってはどうか。	事前復興計画の策定の中において、受援体制についても検討していきます。	防災危機管理室
5	113市民参加による防災対策	P27 「主な取り組み方針」《方針4》	リアス式海岸特有の集落特性を考えると災害直後に活動できる体制を整えることが新たな取り組みとして考えられないか。 例えば、災害バイク隊(ボランティア)を編成して、迅速に情報収集や医薬品など。 防災無線、ワンセグなどは機器や機械トラブルに陥った時の対応策も必要ではないか。	災害直後に活動できる体制を整えるため、住民主導型避難体制確立事業に併せて、避難所運営訓練等を実施し、体制の確立を図っています。 情報収集につきましては、定点カメラ16台、アンサーバック、避難所各所に設置してあるIP電話、ロールコールクラブとの協定締結によるアマチュア無線により、尾鷲市災害対策本部へ情報が集約されます。 医薬品につきましては、今後、医薬品会社等との協定締結に向けた取り組みを進めていきます。 また、機器や機械トラブルの際は、警察、消防等から情報収集するほか、尾鷲郵便局との協定により情報収集します。	防災危機管理室

No.	意見箇所	項目	意見の要約	尾鷲市の回答	担当課
6	114消防・救急体制の整備	P28 「施策の現状と課題」	東日本大震災を契機に……ではなく東日本大震災を教訓として……ではないか。	ご指摘のとおり、災害対応能力の向上は東日本大震災以前より推進しているものであり、『東日本大震災を教訓として、これまで以上に地域での災害対応能力向上が……』と修正する方向で検討します。	紀北消防
7	114消防・救急体制の整備	P28 「施策の現状と課題」≪現状と課題①≫	消防庁舎の移転などのハード……について、前期では記載がなく後期に課題に抽出したのはなぜか。 総合計画策定後であれば、何年に策定した「消防庁舎移転整備計画」に基づきなど前文が必要ではないか。	本計画は前期総合計画策定後に作成したものであることから、後期課題に抽出いたしました。前文については、本計画の事業主体が消防組合であることなどから割愛させていただき、P29『関連する計画』欄に事業計画年度のみ記載させていただいております。	紀北消防
8	115防犯対策の推進	P30 「施策の現状と課題」≪現状と課題①≫	警察署や少年センター等……について、少年センターの業務、役割など 注釈を入れることはいかがか。 次に、文書の中に警察署の表現のほかに尾鷲警察署と記載されているが、双方別の組織なのか。	ご指摘のとおり、少年センターの注釈について追記する方向で検討します。 また、警察署及び尾鷲警察署については、同義のため、尾鷲警察署に統一します。	防災危機管理室
9	116交通安全対策の推進	P33 「主な取り組み方針」≪方針4≫	高齢者が加害者とならないため……と記載されているが、市は、車やバイクを運転する高齢者に対して……でよいのではないか。	施策と現状と課題に記述されている加害者という表現も含め、ご提案の表現を参考にさせていただき修正する方向で検討します。	市民サービス課
10	121人権尊重社会の実現	P34 「施策の現状と課題」の前文で	「国」と「国では」の使い勝手の違いはあるのか。	「国」と「国では」の使い勝手に違いはありませんが、該当箇所の文章について、分かりやすい表現となるよう、改行等により修正する方向で検討します。	市民サービス課
11	122男女共同参画の推進	P36 「施策の現状と課題」の前文で	現在の長時間労働を前提とした働き方は……と記載しているがその根拠は。	内閣府が発表している平成28年男女共同白書に、長時間労働を前提とした働き方について記載されており、本項目においても、こちらから抽出いたしました。しかし、「現在の長時間労働を前提とした働き方は……」という表現は、全ての労働者が長時間労働を前提としていると誤解を生じさせるおそれがあるため、「現在の」を削除し、「長時間労働を前提とした働き方では……」に修正する方向で検討します。	市長公室

No.	意見箇所	項目	意見の要約	尾鷲市の回答	担当課
12	212医療体制の確保	P42 「施策の現状と課題」《現状と課題②》	今後の救急医療体制を堅持し・・・病院経営が課題としているが、医療体制の堅持と病院経営は別に起こす必要があるのではないかと。 病院経営の医事を除いた部分について、建物、施設の維持、事務人件費も含めた中長期の経営と改革を課題として、示す必要があるのではないかと。	総合病院の建物・施設の維持、経営改善を課題として現状と課題及び主な取り組み方針に明記する方向で検討します。	病院
13	232市民相談窓口の確保	P50 「施策の現状と課題」《現状と課題①》	市民からの相談・苦情は多岐に・・・とあるが、市民からの相談・要望が多岐に・・・としないと苦情の表現はふさわしくないのではないかと。	「相談・苦情」という表現を「相談内容」に修正する方向で検討します。	市民サービス課
14	311農業・関連産業の振興	P56 「施策の現状と課題」《現状と課題①》	耕作放棄地の提供を考えていく・・・となっているが、市が該当土地の提供することは可能なのか。	市が該当土地の提供することはできませんが、耕作放棄地対策については、農地中間管理事業を活用し、個人所有の農地を農地中間管理機構が借り受け、担い手へ貸し付ける取り組みを実施することにより、農地の保全を図ります。	木のまち推進課
15	312林業・関連産業の振興	P59 「主な取り組み方針」《方針③》	市は林道などの経営基盤を整備することにより・・・と記載されているが、市は林道などの基盤を整備して、林業施策にかかる経営経費の削減を図る、と思うが、いかがか。	ご指摘のとおり、「林道の基盤整備をすることにより、森林施策にかかる経営経費の削減を図ります。」に修正する方向で検討します。	木のまち推進課
16	312林業・関連産業の振興	P59 「主な取り組み方針」《方針③》	ブランドとして推進するのであれば、6次産業化に向けた新たな取り組みの検討を進めるなどの挿入が必要ではないかと。 育てる、製材する、売るだけではない取り組みを推進する。	尾鷲ヒノキのブランド価値を維持するためにFSC森林認証事業を継続するとともに推進を図り、また尾鷲ヒノキを使った木育事業を実施することにより、市民が木とふれあい、木と学び、木と生きることを体験することで、尾鷲ヒノキの良さを再確認してもらい、木材需要拡大に繋げていきます。これらの取り組みも含め、6次産業化について、「施策番号314 商工観光業の振興」の取り組みと連携し、進めていきます。	木のまち推進課

No.	意見箇所	項目	意見の要約	尾鷲市の回答	担当課
17	313水産業・ 関連産業の 振興	P61 「主な取り組み 方針」	「補助事業、支援事業の費用対効果の検証を進める」ことの方針が必要ではないか。	「611計画的な行政運営」において、「効率的・効果的な行政運営がされているまち」を5年後のめざす姿とした考えのもと、PDCAサイクルなどによる行政運営の改善方針が示されており、ご意見の趣旨についても、市全体として事業効果の検証等に取り組んでいくこととしています。	水産商工食のまち課
18	313水産業・ 関連産業の 振興	P61 「主な取り組み 方針」≪方針3 ≫	市は農商工等連携や6次産業化を推進します。と記載されているが、何をしたいのかが確認できないため、具体的な取り組みの記載はできないのか。	「食」のまちづくり基本計画において、水産物の付加価値の向上や特産品開発等について、地域資源を活用した農商工等連携、6次産業化を推進していく方針を示しており、これに基づき、農商工等連携や6次産業化の推進を記載しています。そのため、具体的な取り組みについては、「食」のまちづくり基本計画に記載しています。	水産商工食のまち課
19	314商工観 光業の振興	P62 「施策の現状と 課題」≪現状と 課題①≫	現状と課題の農商工等連携や6次産業化についても何をしたいのかわからない。	市では、海洋深層水等の地域資源の活用促進を図るとともに、企業による農商工連携等や6次産業化への取り組み支援として、地域産品等を活用した特産品や飲食メニューの開発など、事業化への支援を行っています。	水産商工食のまち課
20	314商工観 光業の振興	P62 「施策の現状と 課題」≪現状と 課題②≫	「世界遺産の熊野古道」と「熊野古道等」と2つの文言が散見されるが、使い勝手が違うのか。	「世界遺産の熊野古道」は、421生涯教育の推進において、文化財の現状と課題を記載するにあたり、文化財としての世界遺産という意味合いにおいて、「世界遺産の熊野古道」として表記しています。「熊野古道等」は、314商工観光業の振興における現状と課題のなかで、複数ある地域資源を代表した形で「熊野古道等」と記載しています。	水産商工食のまち課
21	314商工観 光業の振興	P62 「施策の現状と 課題」≪現状と 課題②≫	「高速道路の尾鷲北・南ICがつながる予定であり・・・」ではなく、工事が進められているため、「つなげる工事が進められている」となる。また、早急に取り組む必要があるのではないか。	ご指摘のとおり、「高速道路の尾鷲北・南ICをつなぐ事業が進められており、」に修正する方向で検討します。また、課題としている、「計画的・重点的に取り組む」の中には、早急に取り組むということも含めて、大きな課題としています。	水産商工食のまち課

No.	意見箇所	項目	意見の要約	尾鷲市の回答	担当課
22	422生涯スポーツの推進	P74 「施策の現状と課題」≪現状と課題①≫≪現状と課題②≫	現状と課題①と②の一個目の○は前書きになるのではないか。	ご指摘のとおり、全国的な取り組みでありますので、リード文として修正する方向で検討します。	市長公室 (生涯学習課)
23	422生涯スポーツの推進	P75 「主な取り組み方針」≪方針①≫	尾鷲市体育協会を軸として……ではなく尾鷲市体育協会を主体として……ではないか。	ご指摘のとおり修正する方向で検討します。	生涯学習課
24	422生涯スポーツの推進	P75 「主な取り組み方針」≪方針③≫	……推進するため、ウォーキングやニュースポーツ、レクリエーションなど……と記載があるが、ニュースポーツとは何か。市の基本計画を示すにあたり、その内容を列挙してください。	平成27年12月に策定しました「尾鷲市スポーツ推進計画」において、【資料編・用語解説】のなかで、ニュースポーツは、『一般的に、比較的新しく考えられたスポーツや新しく日本に紹介されたスポーツなどの総称で、野球やサッカー、陸上競技などのように競技性を重視するというよりも、グラウンドゴルフやユニカールなど、誰もが気軽に参加して楽しむことを重視するスポーツをいいます。』と規定していますので、この定義について追記する方向で検討します。 なお、平成27年6月の時点で、尾鷲市体育文化会館で用具の貸出を行っているニュースポーツの種目は次のとおりです。 ■尾鷲市体育文化会館で用具の貸出が可能なニュースポーツ(11競技) ・クロリティー ・シャッフルボード ・ディスクゲッター ・ドッジビー ・バグジー ・バンブーダンス ・フロートR ・ペタンク ・ユニカール ・ラウンドパスゲーム ・リングキャッチ	生涯学習課
25	513自然環境の保全	P85 「主な取り組み方針」≪方針①≫	……など生態系に配慮した開発等を行います。と記載されているが、市はどのような開発を行うのか。市のハード事業は開発として解釈してよいのか。 ……など生態系に配慮した事業を推進する。が妥当と思われる。	開発行為とは行政が主体となって行うものだけではなく、民間の事業者が行う宅地開発なども指すものです。そのため、表現については、「開発等を行います。」を「事業を推進します。」に修正する方向で検討します。	建設課

No.	意見箇所	項目	意見の要約	尾鷲市の回答	担当課
26	531安全・安心な水の確保	P90 「施策の目的」 「施策の成果を測る指標」	上・簡易水道普及率が5年後も変わらないのであれば、別の水道事業を設けた方がよい。 水道業務は、漏水対策や管の耐震化事業など新たな取り組みが必要と考えられる。見直しにあたっては、次のステップの記載が必要ではないか。	市民に安全で安心な水道水を供給することが市の使命であります。そのため給水区域内の世帯減や給水区域外の世帯増を考慮しますと、普及率を維持していくことは最大の使命と考えています。なお、ご意見にございました、漏水対策や耐震化は、《現状と課題②》に記載しておりますように、既に課題として取り組んでいるところです。	水道部
27	531安全・安心な水の確保	P91 「主な取り組み方針」《方針②》	・・・行うため、水道配管図台帳のデジタル化を行います。とあるが、現在保管されている管理図面と現状が整合しているのかを調査してからデジタル化が適切と思われる。その考え方について確認したい。	水道配管図のデジタル化につきましては、現在の紙ベースの管理図面のデジタル化とともに、公道止水栓や量水器などの位置についても併せてデジタル化する為、現地確認を行うこととしています。	水道部
28	532都市づくり	P92	113 防災対策に地震津波に対する事前復興計画が提起されるが、そこでは新たに復興都市づくりが計画される。当面の都市計画は、事前復興計画に基づき、津波被災を待たず、今からできることをやっておく应考虑すべきである。	今後の都市づくりにおいては、南海トラフ巨大地震などの自然災害への事前復興を考慮した整備が必要となってきます。そのため、《方針①》を「〇市は都市計画マスタープランに基づき、地域資源を活用するとともに、ユニバーサルデザインや南海トラフ巨大地震などの事前復興にも配慮した都市基盤整備を進めます。」に修正する方向で検討します。	防災危機管理室 建設課
29	行政運営	P99	荷坂峠から熊野川までの市町合併、東紀州市新設を日程に上げるべきだ。今後の産業づくり、地震津波対策復興計画等も”東紀州”で考えねばならない。	現在、合併協議は審議されておりませんが、将来的に東紀州地域の課題になってくるものと推測されますので、ご意見として承ります。	市長公室
30	611計画的な行政運営	P100 現状と課題①	「実施計画によるPDCAサイクルを構築」PDC Aサイクル=P4にサイクルのイメージ図表記と書いてはどうか。	ご指摘の通り、100ページに※印を追加し、4ページの説明へのご案内を追記する方向で検討します。	市長公室

No.	意見箇所	項目	意見の要約	尾鷲市の回答	担当課
31	611計画的な行政運営	P100 「施策の現状と課題」《現状と課題①》	PDCAを構築し、実施しています。とあるが、前期ではPDSで事業展開しているから、文言の使い方に疑問である。PDCAに変更するのも、今回の見直しで記載しているから十分な説明が必要である。	「PDS」を現在一般的に主流となっている「PDCA」に呼称変更させていただいたものです。評価プロセスについての変更はないものと認識しています。 「C(CHECK=評価・決算)」「A(ACTION=改善)」の部分である「施策マネジメント」について、現在進めていますが、総合計画を軸とした行政経営システムの構築がより図れるよう、現在のシステムの検証も含め、引き続き取り組んでいきます。	市長公室
32	612健全な財政運営	P102 「施策の現状と課題」《現状と課題①》	1個目の○は前書きだから○はいらないのではないか。	ご指摘のとおり、全国的な取り組みであるので、リード文として修正する方向で検討します。	市長公室 (財政課)
33	612健全な財政運営	P103 《方針①》	「財源の厳しい中であるが公債費の削減に取り組めます。」くらいの方針追加が必要ではないか。	自主財源の確保が困難になっている中で、広範な行政需要に応えるため、起債は重要な財源と考えており、その結果、公債費の短期的な削減は困難な状況ですが、将来の財政負担の軽減を図るため、後年度交付税算入率の高い起債の選択などを行っていきます。	財政課
34	613行財政改革の推進	P104 《現状と課題③》	適正管理計画が28年度からとなっているが、前期での《現状と課題③》では定員管理計画に基づき取り組んでいると記載しているが、時点が合わない。 事業評価を行う場合、事業の業務量の確認が出来なければ適正な配置はできないのではないか。	本市の定員適正化計画は平成12年度から計画期間を5年として5年毎に見直ししており、平成27年度に新たに計画を見直したものです。また、職員の適正配置につきましては、毎年人事ヒアリングを実施し、各所属の政策・施策や事業実施による要望等を考慮し、職員や臨時職員を配置しています。	総務課
35	全体		食を推進エンジンとしているのに、体系図に反映しないのはなぜか。	重点的な取り組みとして、各施策において横断的に取り組むことから、体系図には反映しておりませんので、ご理解いただきますようお願いいたします。	市長公室

No.	意見箇所	項目	意見の要約	尾鷲市の回答	担当課
36	全体		少子高齢化と記載されているが、すでに少子高齢社会、超高齢社会となっている。いつまで少子高齢化の文言を使用するのか。	ご指摘のとおり、「高齢化社会」は過去の話ですが、「高齢化」はその後にも進行しており、その状態を表すことと表現していました。ただし、計画として統一的な表現が好ましいことから、全体的に「超高齢社会」の文言に修正する方向で検討します。	市長公室 (福祉保健課)
37	全体		1つの文章に現状や課題が複数に記載されているのが見受けられる。内容を整理して、項目建てか〇で見やすくすることが必要。さらに、古い助詞の使い方「てにをは」を整理してください。	細かな表現については、最終案に向けて精査します。	市長公室 各担当課
38	全体		関連する計画欄に記載があるところとないところがあるが、精査しているのか。	各担当課において、関連する計画を抜粋し、記載しております。再度担当課に確認し、必要に応じて追加します。	市長公室 各担当課
39	その他		中間案をHPにアップした時間が遅いのではないのか。	内容の精査等により、時間が遅くなりまして申し訳ございません。出来る限り早急に対応していきますので、ご理解の程よろしく申し上げます。	市長公室
40	その他		中間案を公表するにあたって、なぜ事業評価を公表しないのか。	総合計画審議会及び市議会において、総合評価書、計画素案と、順次ご審議いただき、中間案を作成しています。そのため、総合評価書については、計画中間案と重複する部分があることや、両資料を併せると膨大な資料となるため、今回のパブリックコメントでは公表しないことと判断したところです。今回、ご意見をいただきましたので、今後の評価の公表について、検討します。	市長公室